



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1

電話：03-3543-6391

担当者の所属・氏名 看護学研究科 特命教授 堀内成子

【研究代表者】

聖路加国際大学看護学研究科 特命教授 堀内成子

【共同研究機関】

ピジョン株式会社

当院にて帝王切開術(予定・緊急)、麻酔分娩、自然分娩を された方を対象とした授乳状況に関する調査

1.研究の対象

2023年4月～2023年12月に当院にて帝王切開術(予定・緊急)、麻酔分娩、自然分娩で出産された方

2.研究の目的・方法

現在、帝王切開分娩で出産した方、麻酔分娩で出産された方の母乳授乳が、自然分娩に比べて困難が多いと言われてしています。今回、新生児が誕生してから退院までの期間の授乳状況について調査することで、今後の母乳授乳の支援の必要性を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年12月31日までの予定です。
該当データの利用開始は、2024年11月5日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

母親の背景:年齢、産科歴(初産・経産婦)、分娩方法(帝王切開(予定・緊急)・麻酔分娩・自然分娩)、分娩時の出血量、会陰裂傷の程度

新生児の背景:在胎週数、黄疸治療の有無、新生児集中治療室入院の有無、血液検査(貧血)

授乳状況:児による直接授乳の回数、母乳量、出生後に直接授乳するまでの時間、ミルクを哺乳することの承諾と人工乳の補足回数と量

児の状況:体重(出生時の体重および入院中)・排泄回数、(授乳表の記載数字)

バースプラン:母乳授乳の希望、早期接触の有無